



くまのみ通信

-中谷外科病院広報誌-

第41号
2017年4月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>

Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間
月～金 9:00 ～ 12:00
15:30 ～ 18:30
土 9:00 ～ 12:00

<中谷外科病院 基本方針>

- I :常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I :消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I :多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I :在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行う。
- I :職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

新年度のご挨拶 ～電子カルテと病院機能評価～

平成 29 年度に入り当院に新しい仲間（医師、薬剤師、理学療法士）が加わり、マンパワーが強化されました。3 人とも素晴らしい人材で、風通しの良い職場環境作りのために大きな力となってくれそうです。

昨年度は病院創立 50 周年となる節目の年でしたが、次の半世紀のスタートとなる今年度、私たちは二つの具体的目標を立てました。一つは「電子カルテの導入」、もう一つは「病院機能評価の受審」です。電子カルテというと「医者がパソコンの画面ばかり見て、患者を診ない」という冷たいイメージを持たれる方がおられるかもしれませんが、そんな心配は全くありません。電子カルテの最大の魅力は、業務発注や記録の合理化によってスタッフが患者様と接する機会、時間を多く作れることであり、その結果より質の高い医療・看護を提供できるようになる点です。スタッフ一同努力し、皆で知恵をしぼってこの便利な道具を上手に活用していく所存です。

当院は平成 20 年に初めて日本医療機能評価機構の認定施設となり、今年 10 月に 3 回目の病院機能評価を受審します。病院や診療所は日々の業務が忙しく、気がつくひとりよがり、時代遅れの医療を行っていたなんてことになりかねません。こういった事態に陥らないための有用な方法が第三者評価です。機能評価では当院とは無関係の専門職の方々が当院の実情を見て、利点と欠点を指摘していただけます。最初の受審は裁判でも受けるような緊張を強いられましたが、この制度に慣れるにつれ「職場をより良くし、患者様に安全・安心な医療を提供し続けるためのまたとない機会」であることが分かり、職員皆が積極的に取り組むようになりました。今からこの秋が楽しみです。

今年度も私たち中谷外科病院的スタッフは常に患者様の立場に立ち、自分から笑顔で「おはようございます」と挨拶し、日々の仕事に誇りを持って取り組んで参ります。今後とも皆様方の叱咤・激励をよろしく願いたします。

平成 29 年 4 月吉日

中谷外科病院
院長 中谷 紳

ドクター紹介

平成 19 年岡山大学医学部卒業、出身は倉敷市です。現在大学院生として癌細胞の研究を行っております。趣味は多数（音楽、鑑賞、テニス、サッカー、サイクリング、ゴルフなど）ありましたが、現在は子供と遊ぶことが一番の楽しみとなっています。細々といろいろ続けたいとは思っておりますが……。これまで様々な病院で仕事をさせていただきましたが、それぞれの病院で必要とされることを模索しつつ、少しでもお役に立てればと考えながらやってきました。まだまだ不慣れではありますが、どうぞよろしく願いたします。



岡山大学消化管外科 伊藤 雅典

中谷外科病院の理念—患者様とともに歩む



「おげんきさま漢方雑話(2)～甘麥大棗湯～」 (カンバクタイソウトウ)

外科部長 坂田 龍彦

自験例: 21 歳, 女性, 過換気症候群

一時間以上発作が持続し、救急要請。搬入時も過換気が持続。普通車運転免許取得の短期集中講習受講中で明日が仮免許試験と迫り、疲労と緊張・不安から発症したと考えられた。以前にも同症状の既往あり。甘麥大棗湯エキス剤 2 包を白湯に溶いて内服してもらう。



1～2分で発作がおさまり、なにもなかったかのような表情となった。

傍で目撃した看護師さん二人、声を合わせて「スゴイ！」。

甘麥大棗湯は張仲景先生の『金匱要略』の婦人雜病脈証并治第二十二に収載されております。別名「甘草小麦大棗湯」と呼ばれる通り、炙甘草 9g, 小麦 18g, 大棗 6g 水煎服(「中医臨床のための方剤学」という単純な組成です。エキス剤は甘草 5g・小麦 20g・大棗 6g となっており甘草の量が少なめになっております。

効能は養心安神・和中緩急で、主治が臍躁で、憂思過度により消耗し、精神が落ち着かない「臍躁」という状態に有効です。症状は、ぼんやりとして、あくびを頻発したり、悲哀感から急に泣き出したり、焦燥感でいらいらしたり、眠りが浅かったり、眠れなかったり、甚だしいと急に怒り出して妄言やとりつかれたようになりたりする、いわゆるヒステリー症状が現れます。甘麥大棗湯による別の自験例として、認知症高齢者男性



の易怒不穏の患者さんに柴胡加竜骨牡蠣湯と合わせて内服してもらったところ、嘘のように落ち着かれました。他にも抑肝散+甘麥大棗湯も効きました。

「名医の経方応用」には、甘麥大棗湯は一切の心虚肝鬱に属する精神病、例えばヒステリー・癲癇・不眠・煩燥・ノイローゼ・筋肉の震え・痙攣性の咳嗽の患者に応用すると書かれております。もっと広く応用可能な方剤のようです。

外来担当医

(H29.4 月～)

	月	火	水	木	金	土
午前	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨
	中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳 (内視鏡)	中谷 紳	中谷 紳	坂田龍彦 第 1,3,5
	伊藤雅典	坂田龍彦	坂田龍彦	西 英行	坂田龍彦	西 英行 第 2,4
			石川 隆	鈴木健夫 (内視鏡)		杭瀬 崇
午後	伊藤雅典	中谷 紳	坂田龍彦	中谷 紳	坂田龍彦	午後休診

【お知らせ】

- * 院長は水曜日の午前中、内視鏡検査・治療を行うため、基本的には院長外来はありません。できる限り柔軟に対応させていただきますので、ご了承ください。
- * 4 月の電子カルテ導入にて、より良い医療が提供できるよう努力しています。システムに慣れるまでご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解ください。



看護部病棟Bチーム

ストーマを受け入れられない患者に関わって ～ 傾聴 見守り そして実践へ～

緊急OPによるストーマ造設を受けた患者に関わり、その心に寄り添い、耳を傾けることにより患者が少しずつそれを受け入れることが出来た症例。
フィンク氏の危機プロセスを使用し患者のケアに当たった看護師の皆さんに敬意を表したい。

医療安全委員会

川柳による医療安全の啓発

医療安全の風土化に取り組み、川柳を介して全職員に医療安全に対する意識付けが出来た取り組み。

職員の意識調査も兼ね、”コミュニケーション”、”確認”、”笑顔”等を楽しく表現出来ていた。思わず笑ってしまった。



看護部外来

患者間違いに対する意識向上への取り組み

患者間違い防止のため患者様に名前を名乗っていただく事で事故防止に繋がった事例。今更、と言う患者意識もさることながら、職員の意識改革ができたことが大きいのではないかと。実際に実施場面を見ると気持ちがいい。

褥瘡NST委員会

褥瘡委員会報告

褥瘡委員会の活動報告はいつも楽しい。結果をきちんと出すのでわかりやすく納得してしまう。今回はNPWT(陰圧閉鎖療法)のコスト面にフォーカスした発表。そうだったんだ、と改めて納得した。

事務部

医師事務作業補助者の役割 ～補助者とは・算定要件・点数について～

電子カルテ代行入力のため医師事務作業補助を採用するが、職員間の認識には温度差がある。今回の発表により現実の運用方法がはっきりし、身近な存在として認識する事が出来た。

患者サービス向上委員会

退院時アンケートからみえた排泄問題

高齢化、大腸内視鏡患者の増加に伴いトイレ事情は大きく変わりつつある。そんな患者のニーズを抽出し分析した事例。
ハード面の改善には限りがある。当院では、昨年末、和式トイレの洋式化を行なった。その後に関しては患者様の御意見を伺いながら使用方法の検討が必要。



看護部病棟Aチーム

認知症患者と向き合って

認知症患者の対応に苦慮した1例。
最後の言葉「認知症高齢者が安心して入院生活を送れるように、そして人として尊厳を守るために・・・出来ることからやってみよう・・・」
神戸市立医療センター中央市民病院 花房 由美子氏。発表者の「この言葉を忘れずに認知症患者さんと向きあって行きます。」頑張り！！

院内感染委員会

抗菌薬適正使用

毎年実施している抗菌薬適正使用に関する報告。抗菌薬ワークシートの運用を実施して10年が経過した。昨年はカルバペネム耐性菌の使用状況等の報告を実施した。使用状況の集計により見えてくるものが明確になった。これからも継続して行くべきである。



【 基調講演 】

過去20年間に当院で確定診断した 消化管悪性腫瘍症例の検討

院長)中谷 紳

20年間に中谷外科病院が実施してきた内視鏡の数は上部、下部消化管内視鏡の総数は33000件以上におよぶ。大腸癌が急増している現在、早急な対策が必要である。20年間の実績を踏まえこれからも早期診断・早期治療を実施し、地域に貢献できるようスタッフ一同自覚と誇りをもって、日々精進していきたい。



H28年度「The Best FISH賞」決定！！



H26年8月1日の48周年を機に、当院では『FISH』を実践しています。1年を通して最もイキイキ、ピチピチした職員に贈られるH28年度『The Best FISH賞』は??



(著者) スティーブン・C・ランディン他

FISH の実践

- 1: 態度を選ぶ
- 2: 遊ぶ
- 3: 人を喜ばせる
- 4: 注意を向ける

新人紹介

- ① 趣味は？
玉野市の市民オーケストラでOboeを吹いています。
- ② 薬剤師になろうと思ったきっかけ？
家が薬局だったので

『病棟業務を始めるにあたり、皆様にいろいろお願いすることも多いと思いますが、よろしく願います。』



薬剤師：赤松 由紀子

- ① 趣味は？
サッカー観戦(アジアノ岡山)ライブに行く。
おいしい物を食べる。ドラム演奏
- ② 理学療法士になろうと思ったきっかけ？
小学生の時に手術を経験しました。その際にリハビリを受け、この仕事を知り目指すようになりました。

『患者様をはじめ、私を支えてくださった方々へ少しでも恩返しできるように全力で頑張ります。』



理学療法士：皆木 ひかる

スタッフのひとり言 『私の大切な言葉』

今から約40年前、私が競輪選手の頃、若いアマチュア選手とどのように接してコミュニケーションを図り、その人の能力を最大限に伸ばすには、どのようにすればよいかを考えていた時、出会ったのが山本五十六元帥の次の言葉です。

『やってみせ、言って聞かせてさせてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。』
『話し合い、耳を傾け承認し、任せやらねば、人は育たず。』
『やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず。』

この言葉の意味をかみしめ、参考にすることで、多数のプロ選手を育てることができました。どのような職場でも、この言葉の意味を理解し実行することで役立つのではと、今も思っています。 看護主任 出宮 政幸